

# カーゴニュース

イーソーコ総研が「倉庫コスチューム」を提案

光と膜の演出でオンリーワンの倉庫に变身

イーソーコ総合研究所(本社・東京都港区、遠藤文社長)では、倉庫オーナー向けに「倉庫コスチューム」を提案している。イーソーコ総研とテント膜で実績のある太陽工業、屋内外の看板照明を手掛けるウララネオンの3社による共同プロジェクト。倉庫の外壁をテント膜で覆って、内側に照明を施し、倉庫を丸ごとラッピングする——という発想だ。大都市の倉庫では、周辺環境の変化で倉庫としての利用が難しくなっているケースもあり、「倉庫コスチューム」によりオフィス、店舗、シヨールーム、スタジオなど他用途へのコンバージョンもしやすくなる。

光と膜で建物を演出し、建物の価値を上げる手法は、既にオフィスビルや商業施設では採用されている。古い建物は、入居テナントを確保するために他の建物



「倉庫コスチューム」イメージ図

と差別化しなければならぬが、斬新なデザインや塗装はコストがかかる。そこで、外壁の汚れを隠しつつ、照明によるライトアップなどで差別化できる「ビルコスチューム」が注目され始めている。光と膜を利用するため、看板や塗装に比べて柔軟に広告を出せるのもメリットで、多少賃料を高くしてもテナントを集客できるという。

イーソーコ総研など3社は、「ビルコスチューム」の倉庫版として「倉庫コスチューム」を提供し、構想計画から施工管理、運営までトータルにサポート。とくに他用途へのコンバージョンを検討している倉庫オーナー向けに、倉庫を「昼は膜のスタイリッシュな姿に、夜は光の艶やかな姿に変身させる」ことで資産価値の向上による収益アップを提案する。外壁だけでなく、内装についても光と膜の演出が可能で、入居テナントにとって魅力的な空間を創出する。

なお、「倉庫コスチューム」は、LED(発光ダイオード)照明を採用し、膜によるラッピング効果で空調負荷を低減できるなど環境対策にもつながる。一般的な外観工事と違って、短期間での工事が可能で、工事中の施設の運営も可能。イーソーコ総研では、倉庫のコンバージョンサービス「Re・倉庫」と組み合わせ、「倉庫コスチューム」を提案していく考えで「変わった倉庫、オンリーワンの倉庫としてテナント付けしやすくなる」としている。

「倉庫コスチューム」の問い合わせ先は、[www.sohko-costume.com](http://www.sohko-costume.com)